

(仮称) 鎌倉公園整備基本計画 (素案) に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施の概要

期 間	令和3年1月12日(火)～令和3年2月11日(木)	
意見応募者数	25人 (市内在住22人、市内で活動する法人または団体1人、 その他、利害関係を有する者1人、不明1人) (20歳代1人、30歳代3人、40歳代4人、50歳代4人、 60歳代5人、70歳以上2人、不明6人)	
提出の方法	持参	1人
	送付	2人
	ファクシミリ	3人
	メール	1人
	市ホームページ	18人

2 意見に対する対応状況

反映済み	1件
反映する	4件
反映しない	3件
参考意見	25件
その他	0件
合計	33件

3 意見への対応

番号	ご意見	検討結果	対応
1	<p>保護者が安心して飲食できるよう子ども広場には全体を見渡せる全面ガラス張りのカフェを設置してほしい。雷雨などにも対応できる屋内広場があるといい。</p> <p>人工芝のボール遊び禁止エリアを設ける。ピクニックや未就学児が遊んだりできるようにするほか、ぶるべーなどの撮影スポットを設置する。また、昭和をイメージした懐かしの駄菓子屋を設置する。</p>	<p>建物については、管理施設の機能等とともに検討します。屋内広場の設置については考えておりませんが、広場エリア、遊戯エリア等で伸び伸びと遊べるよう整備を進めていきます。</p>	参考意見
2	<p>公園ができるのは大変喜ばしいことだと思います。ただ、できれば公園内に人工芝のサッカー場を作ってほしいです。</p> <p>小平市は FC 東京の練習場があり、市も応援しているのにきちんと整備されたサッカー場が一つもありません。この公園は市役所からも近く管理がしやすいと思うので是非、人工芝のサッカー場を作ってほしいです。</p>	<p>運動公園である中央公園が近隣にあることから、鎌倉公園に運動施設を設置することは考えておりません。広場エリア、遊戯エリア等で伸び伸びと遊べるよう整備を進めていきます。</p>	反映しない
3	<p>農業体験ができる施設は近所に多くあり、ここまで農業体験に重きを置いた公園にする必要があるのか疑問です。</p> <p>幅広い世代が集えるよう、それ以外の目的の広場にしたい方が有効的だと考えます。</p>	<p>農地が宅地化等で減少傾向にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備を進めていきます。</p> <p>農にふれあうエリアの北側には、幅広い世代が交流できる場として広場エリアを設けます。</p>	参考意見
4	<p>お花見や紅葉などを楽しめるように桜の木や紅葉を植えれば四季折々を楽しめると思います。銀杏はオスの木なら良いですが、メスの木だと近所への悪臭が気になるかと思いません。</p>	<p>植栽する樹木の具体的な樹種は未定ですが、公園内は四季を感じる緑豊かな植栽となるよう整備します。</p>	反映済み (P. 24)
5	<p>東村山の中央公園のまいまい池のような小さな水遊びなどが出来る場所があると、小さい子も遊びやすそうです。</p>	<p>池等の設置は考えておりませんが、子ども遊具エリアや遊戯エリア等において子どもが伸び伸びと遊べるよう整備を進めていきます。</p>	参考意見
6	<p>鎌倉公園と言うからには、重厚な憩いの場所としての公園を作ってほしいです。素案の広場エリアと農にふれあうエリアには、池を作り、その土は小山を作る。池の水は近くの用水路から引き入れて、水車小屋を作る（小平には水車小屋が幾つもあった）。</p> <p>池のほとりに古民家風の建物を建てて、お茶やコーヒー等</p>	<p>池等の設置は考えておりませんが、築山のような遊具の設置なども含め検討し、整備を進めていきます。</p> <p>また、建物については、管理施設の機能等とともに検討します。</p> <p>植栽する樹木の具体的な樹種は未定ですが、公園内は四季を感じる緑豊かな植栽となるよう整備します。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>を飲みながら歓談出来る場所にする。 樹木は桜の木と紅葉の木だけにして、春は桜、秋は紅葉の名勝になるようにして欲しい。 例えば、昭和記念公園の日本庭園の様な公園です。</p>		
7	<p>対象者を老若男女、障がいの有る無しにかかわらず、全ての方が農業に親しめる公園とする。 環境教育の場として、楽しんで学べる場とする。 小平市の環境問題への取組を知っていただく場とする。 具体案は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の回りには、人工的なフェンスを設置するのではなく、プチ田舎小平の自然の風景が楽しめるようなイメージが良い。敷地の周りに、用水路をぐるりと作る。花や樹木を植栽し、市民が散歩できるように水路沿いに小路を造る。ちなみに、地面に高低差をつけると用水路が設置できるのだそうです。 ・畑は、障がい者や高齢者も体験できるようにする。例えば車いすに乗って作業ができるように高さをつけた畑や水洗い場の設備などがあると良い。 ・カフェ等設置する際には、屋根にソーラーパネルの設置をする。小平市の環境問題への取組について来訪者に知ってもらう為に建物内にパネルの設置をする。 ・風力発電エネルギーの学習の為にプロペラを設置する。あくまでも実物を見てもらう為なので1、2機ほどでよい。設置したプロペラでどの位電気を発電できるか自然エネルギーの仕組みを楽しく理解する。 <p>例えば、パネルの展示内容案は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策の取組の為に、生ごみの削減をする。 ・各小学校に生ごみ処理機の導入をする。 ・学校給食の生ごみの量（毎日）の測定をする。 ・堆肥を作る。 ・小平市のブランド化（学校給食の残渣から作った堆肥）。 ・市内の学校、花壇などの植栽に利用する。販売なども行う ・パネルに年間の生ごみ排出量の測定値を展示する。等 	<p>本公園は、将来にわたり小平市の原風景を守りながら、多様な世代が利用し農を身近に感じていただけるよう整備を進めます。また、障がいのある方も利用しやすいような設備の導入についても検討していきます。</p> <p>様々な世代に農を身近に感じていただくことで、環境教育の場としても本公園を活用できます。各環境問題に対する市の取組については、整備する各エリアや設置物の活用を図り、啓発方法等について検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
8	<p>駐車スペースは無くても良い。公共交通アクセスが良い立地条件なので駐車場は不要である。他市のもっと大きい公園でも駐車スペースはもっと小さい。新小平駅側の立地予定も疑問である。実現するか不明の計画道路に寄せる必要はない。テニスコート、野球・サッカーのグラウンドを設置して欲しい。</p>	<p>鎌倉公園予定地北側に今後都市計画道路が整備され、車によるアクセス性の向上が期待できることや、障がいのある方の利用などもあることから駐車場を設けます。</p> <p>また、運動公園である中央公園が近隣にあることから、鎌倉公園に運動施設を設置することは考えておりません。広場エリア、遊戯エリア等で伸び伸びと遊べるよう整備を進めていきます。</p>	反映しない
9	<p>以下の理由から散策路を公園一周できるようにしてほしい。</p> <p>防犯上、行き止まりがなく、いつでも通路に出られる方が良い。</p> <p>有事の際も一周できるスペースがあった方が移動や列を作るのに効果的である。</p> <p>散策路としても一周できると気持ちが良い (玉川上水沿い以外にあまり歩ける場所がない)。</p>	<p>緑の中で安らぎ、自然を感じられるよう散策路を設置します。山王通り及びたかの街道に接する部分については、農地部分の保全や遊戯エリアのスペース確保のため、散策路は設置しませんが、既存の歩道に加え、公園内の一部を歩道形態として整備するとともに、緑地帯を設けることで、自然を感じながら安全に通行することができる空間を確保します。</p>	参考意見
10	<p>現在、小平市の緑は急速に失われています。また農地は一度公園に整備してしまったら元には戻りません。公園化の意図は理解できますが、農地を公園に造り替え、野菜モチーフの遊具を置き、見た目の良い樹木を植栽することで解決するのでしょうか。子どもたちの遊び場として考えるにしても、自然の中で遊ぶプレーパークのようなものは難しいでしょうか。</p> <p>すでに計画が進むなか一市民が提案できることは少ないと思いますが、自然のままの大地でプレーリーダーと一緒に遊び、育ち、かたわらでは農業経験者や研究者から実践的に農を学び、耕す。地元のお店（直売所）エリアもあり毎週日曜日にはマルシェで賑わい、タネや苗のお譲り会や収穫祭などの季節ごとにイベントも開催する。単なるハコモノで終わらない小平スタイルの確立を期待します。</p> <p>そして、最後に、小平に住む人は緑豊かな農地のある風景に癒され、家庭菜園などで作物を育て楽しむ人が多くいます。またこれから農業を生業にしたいと考える人もいます。公園整備とは別に土地利用の規制緩和や資金援助を含む、就農プログラムなどの検討も希望します。</p>	<p>農地が宅地化等で減少傾向にある状況にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備するほか、子どもたちの遊ぶ場としては、遊戯エリア等で伸び伸びと遊べるよう整備します。</p> <p>広場エリアについては、地域の行事やイベント等を行うことができる空間や地域のコミュニティの場として活用していきます。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
1 1	<p>3才の子どもがおり、公園にはよく行きますが、どの公園も古びたよくある滑り台、ブランコ等の遊具ばかりで、体を使って思いっきり遊べる複合遊具が少ないと感じています。</p> <p>また、安全面から遊具が撤去された後、新しい遊具が設置されていない公園が多く、土日は遊具の取り合いになっています。そのため、土日は他市にあるアスレチックをよく利用しています。</p> <p>そこで鎌倉公園に期待するのは、ここに行けば楽しいと子どもに思わせるよう複数人で同時に遊べるような複合遊具を設置してほしいです。</p> <p>そのほか、早朝と夕方は子ども用遊具で運動する高齢者を見かけます。その方々にも利用できる大人兼高学年用のアスレチックのようなものがあれば、小さな子どもを見守っていただけるのではないかなと思います。</p>	<p>遊戯エリア、子ども遊具エリアでは小さな子どもをはじめ多様な世代が利用できるように整備します。伸び伸びと遊べるような整備にあたっては、複合遊具も含めた遊具の設置について検討します。</p> <p>また、高齢者が運動できるよう健康エリアにおいて健康遊具を設置します。健康エリアは、子どもが利用する子ども遊具エリアや遊戯エリアから近い距離に設置します。</p>	参考意見
1 2	<p>(仮称) 鎌倉公園整備基本計画の計画区域の縮小を検討していただきたい。理由は以下のとおりです。</p> <p>区域内は農地が多く、第1期整備区域だけで計画の大部分を占めています。第2期は宅地(居住地)等で区域も狭いです。完成しないと支障の出る道路のような公共事業と異なり、公園はすべてが道路に隣接し整形地でなくとも、現況に沿った地形で計画し事業を実施することで目的を達成することは可能と考えます。</p> <p>居住地の買収には費用や時間がかかります。早期に完成させ、多くの市民に利用してもらおう方が、市民に喜ばれると考えます。</p> <p>私はこの計画区域内に40年以上住んでいる高齢者です。今では、子供や孫たちのふるさとなっているこの土地から転居となると、住環境の変化(土地探し、近隣環境、住宅建設および資金面等)による精神的な心労等が計り知れません。</p>	<p>整備については、第1期と第2期に分けて段階的に進めることとしており、第1期整備を令和8年度頃に終えた段階で、完成した箇所から多くの方にご利用いただけるよう計画的に整備を進めていきます。</p> <p>公園の全体整備にあたっては、計画区域内の居住者の方に事業についてご理解いただけるよう丁寧にご説明し、話し合いをさせていただきながら進めていきます。</p>	反映しない

番号	ご意見	検討結果	対応
1 3	<p>2020年7月より小平市に住み始めた0歳児を持つ者です。以下のとおり意見とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.14 5 (3) 整備コンセプト 農を身近に感じるという点は、素晴らしいと思いました。子供が産まれて、住居を探していた頃、小平市は自然が多く、子供にとって住みやすいと想い、小平市に住むことを決断しました。その意味で、農という観点で小平市の自然を守るのは大賛成です。 コンセプトの表現について1点あります。本素案を読み進みていく中で、農業を連想しました。そのため、農ではなく、農業という表現にしてはいかがでしょうか。 あえて、農という表現している場合は、教えていただければと思います。 ・P.25 7 (3) 公園管理運営体制の検討 管理体制には記載されている通りの方法があるかと思えます。 観点として入れていただきたいのは、運営における業務を学生（高校生や大学生など）が担えないかです。 鎌倉公園を守っていく市民、特に若い世代が運営を担うことは未来に繋がっていくのではと想像します。 より良い計画になり、そして実行されることを願っています。 	<p>本公園の整備については、農地を保全する考えのもと、農を身近に感じることをコンセプトとしています。農の表現については、農業に限らず農地等広く農に関することを対象とした考え方であるため、農という表現としています。</p> <p>管理運営体制は今後も検討が必要ですが、これまでワークショップ等においても学生などの声も聴いてきており、引き続き若い世代の声も参考にしながら、検討を進めていきます。</p>	参考意見
1 4	<p>既存の敷地がほぼフラットですが、敷地に多少の起伏があってもよいかなと思います。用途としては子供が遊ぶ丘のようなもの又は観覧席のような使い方ができてイベントに対応できたり、高低差を利用した遊具を設置したり。遊具も目玉になるような他の公園にない特徴のあるものを一つ設置してほしい。他にもバーベキューサイトや小さな小川、噴水を設置する。</p> <p>農にふれあうエリアは幅広い年齢層で活用できそうでとてもよいと思いました。小さな公園ではできないこと、してはいけないことが多いので、大きな敷地を上手く活用してバットが振れたりバスケットゴールがあったりなど幅広い年齢層が楽しめる公園を希望します。</p>	<p>遊戯エリアにおいて、築山のような遊具の設置も含め検討し、整備を進めます。</p> <p>農にふれあうエリアは年齢を問わず多くの方が利用できるような整備を検討するとともに、広場エリアについては開放的な空間を確保し、レクリエーションなどの場として、人々が集い、自由に過ごせる場として活用します。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
15	<p>管理施設や広場エリアには防災設備、遊具エリアにはいくつかの建屋があり屋根があるので、そこに太陽光パネルを設置しては如何かと思いました。機器等は建物内に収納できると思います。管理施設は日中、照明等で電気を使うのであれば、自家消費の節電になる動機付けが成り立つと思います。他にも、停電時の非常用電源の確保に繋がると思います。また、看板設置により啓発になると思います。非常時の電気の確保は、ライフラインの中でも最重要と考えます。防災機能を持つ公園としては、電気は必須と考えます。</p> <p>防災倉庫には、防災機器として太陽エネルギーを確保できる太陽光発電パネルキット、ソーラークッカー等を保管してはどうでしょうか。</p> <p>駐車場において、今後の備えとして急速充電器若しくは普通充電器を設置することは、地球温暖化防止のインフラ整備になると思われます。公園を利用している間、充電できます。電気代はもちろん本人負担です。</p> <p>ベンチは災害時に役に立つ仕組みを備えることが肝要です。</p> <p>災害用井戸が掘れないでしょうか。生活用水用(畑に撒く水)であれば、上水道を引くコスト(設置費、水道料金)に見合うのでは。また、手押しポンプは、現代の市民には啓発上有益と思います。</p> <p>トイレの設置が良く分かりませんが、設置するのであればその位置によって、雨水貯留タンクを設置しては如何かと思えます。非常時はトイレ用の水となり、平常時は、畑や打ち水用の水にもなります。</p>	<p>非常時の電源確保は重要であり、太陽光パネルをはじめとした蓄電設備や充電設備は、非常時における一定の効果が期待できます。</p> <p>また、その他ベンチなどの災害時にも活用できるような設備の設置についても検討していきます。</p> <p>防災の視点を持ちながら、防災機能を兼ねた広場に設置する設備について検討し、防災・地域の拠点として整備を図ります。</p>	参考意見
16	<p>緑地エリアにおいては、広葉樹を中心に夏は日陰が広がる散歩道を整備し、夏の暑さ対策をすることにより、市民の健康管理にも資すると思えます。その他のエリアにおいても、夏季の災害時の日陰の確保のため広葉樹が望ましいと思えます。</p>	<p>緑地エリアについては、緑のなかで安らぎ自然を感じられる散策路の整備をすることとしていますが、木陰を創出する旨の記載を加えるほか、遊戯エリアにおいて遊具の周りなどに部分的に木陰ができるような植栽などに取り組む旨の記載に修正します。</p> <p>植栽する樹木の具体的な樹種は未定ですが、公園内は四季を感じる緑豊かな植栽となるよう整備します。</p>	反映する (P. 19、24)

番号	ご意見	検討結果	対応
17	<p>緑地エリアにおいて、木の植樹を市民や企業の寄付により進めるのは市民参加の公園作りにつながると思います。(できれば寄付した方のプレートを付ける)</p>	<p>公園の管理等については、市民や企業が関わる方法もあるものと思います。協働で活動できる取組なども研究していきます。</p>	参考意見
18	<p>農にふれあうエリアには、一部、実のなる木を植えたらどうでしょうか。ブルーベリー、柿、栗、梅、イチジク、葡萄、柑橘類等、農に触れ合うと共に収穫のイベントを通じた啓発や災害時の補助的な食料の確保に繋がると思います。</p>	<p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p>	参考意見
19	<p>無駄な投資でないか、世代を越えて馴染みやすい場として十分な配慮ができているか、今一度市民からの意見を反映していただきたいです。</p>	<p>農地が宅地化等で減少傾向にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備を進めていきます。今後も説明会等で事業について情報提供するとともに、ワークショップ等で市民の方のご意見を聴きながら取り組んでいきます。</p>	参考意見
20	<p>内容を拝見しましたが、疑問があります。 多額の費用を投入するには、かなりずれた計画に感じました。これは本当に皆が望んでいるのでしょうか。 農業体験は小平では何処でもできますし、管理はできるのでしょうか。管理する人の雇用と言う素晴らしい言葉を使って、また無駄なお金が流れそうです。 たまたま、市民でこの情報を見つけたけど、見つける事ができてない人が多過ぎだと思います。 計画が緩すぎると感じます。私は都市再開発、道路拡張で二度ほど立ち退いた事があり、残念な計画を見てきたので意見を言わせて貰おうと思いました。(キラキラしたのを作れば良いと思っている方の再開発ですが) 自分の住む場所の目の前がこんな計画だったら嫌だと思い、また、実際その付近に住む人はどう考えているのかとか、色々と思いました。誰が考えた話なのでしょうか。 がっかりしたとにならないようにしてください。</p>	<p>管理については、市直営のほか民間委託や指定管理者制度等の手法などを検討していきます。 これまで市報や市ホームページ等で、説明会やワークショップ等、事業を案内する機会について周知してきました。今後も説明会等で事業について情報提供するとともに、ワークショップ等で市民の方のご意見を聴きながら取り組んでいきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
2 1	<p>私は今までの説明会などに参加して、大体理解していたつもりですが、今回は全体像がよく分かる素案にまとめていただいたと思います。</p> <p>P. 4 教育のところ小平第四小学校が抜けています。1km以内だと思いますので追記をお願いします。廃校を考えているのかなと思ってしまいました。</p>	<p>P. 4 (4) 自然・社会・人文的条件の社会的条件の教育について記載を修正しました。</p>	<p>反映する (P. 4)</p>
2 2	<p>P. 18 農にふれあうエリアで、既存の農風景を保全し、短冊状農地を活かす、というところが鎌倉公園の特徴的で一番重要な部分だと思います。土地を提供していただく農家のためにも、現在の整然と整備されて本格的に農業を営んでいる大切な農地が、耕作放棄地が目立つ雑草だらけの乱雑な家庭菜園にならないよう、管理運営の工夫をお願いします。</p> <p>P. 25 管理運営は指定管理か PFI しかないと思いますが、どうい可能性があるのか知りたいので、他の地域での具体例をあげてほしかったです。またレストランやカフェを併設するならば、管理棟は一応商業地区である山王通りに面した方が街の活性化につながってよかったように思います。</p> <p>P. 26 優先整備区域は第一期整備区域に含まれているのですが、図ではどこを指しているのかわかりにくいです。可能な部分は前倒しで開園するようにはしていただきたいと思いましたが、準備に時間がかかり 4~5 年後に第一期が開園されるということで理解しました。これからも引き続きワークショップ、用地説明会などの情報公開を積極的に進めていただくようお願いいたします。最後に、必要な予算について何も触れられていないことが気になりました。総事業規模、予算の出所について、なんらかの記述が必要だと思います。</p>	<p>農にふれあうエリアにおいては、短冊状の農地を残し、農の景観を保全するとともに、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p> <p>管理施設については、管理のため、農にふれあうエリア及び駐車場や広場エリア等にも近い場所に設置します。</p> <p>整備については、第1期と第2期に分けて段階的に進めることとしており、第1期整備を令和8年度頃に終えた段階で、完成した箇所から多くの方にご利用いただけるよう計画的に進めていきます。今後も説明会等で事業について情報提供するとともに、ワークショップ等で市民の方のご意見を聴きながら取り組んでいきます。</p> <p>事業費については、現時点では具体的に導入する施設等について検討段階であるため記載していませんが、都市計画税を充当するとともに、国や東京都の補助金の活用を図りながら事業を進めていきます。</p>	<p>参考意見</p>
2 3	<p>農業公園という意欲的な公園を計画されているのは理解できますが、以下の点が疑問です。</p> <p>民生費が膨張しつつある中で、他の事業費は概ね予算をカットの方向であるのに、この場所を農業公園として進めることに意味があるのでしょうか。</p> <p>小平都市計画道路 3・3・3 号線を作りたいがために、あ</p>	<p>農地が宅地化等で減少傾向にある状況にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備を進めていきます。子どもたちの遊ぶ場としては、遊戯エリア等で伸び伸びと遊べるよう整備します。</p> <p>事業費については、現時点では具体的に導入する施設等に</p>	<p>参考意見</p>

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>おられて鎌倉公園整備事業が動かされて計画しているのは以前の説明会でよくわかりました。</p> <p>総事業費用と、農業公園を運営するためのPFI、民間委託、指定管理にしてもかかる費用を、公開してください。</p> <p>この場所に農業公園を整備することについては、以下の理由で反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公園に加えて、鷹の台公園、鎌倉公園と二つ公園があり、過剰なサービスになり維持費がかかります。 ・農にふれあうエリアを、改めてつくらなくても、近くには体験農園もあれば、小川西にいけば市民菜園もあります。 ・学童農園事業もやっており、このエリアの農家は、ぶどう、柿、なしと果実を一生懸命作っており、野菜ともに農家ショップで販売されており、彼らの畑をとりあげてまで、市民が農とふれあう機会をつくるのは本末転倒だと思います。 ・大災害時の防災の拠点としても畑のままでも拠点になります。自由記述アンケートでも、同様な意見が出ていると思います。 <p>公園整備と言え、周辺住民からすればマイナスは少ないため歓迎されます。しかし、慎重な意見も多いです。</p> <p>公園を市民のためにつくってくれるのに、普通は反対されないが、アンケート見るとマイナスの意見もあります。</p> <p>小平都市計画道路3・3・3号線はさらにナンセンスです。小平市の行政に何を言っても何もきいてくれないのは良くわかっていますが、思い出したので意見しておきます。</p> <p>都市計画図に計画があるから、惰性でつくるのはもう辞めましょう。市長も変わることで、一度、踏みとどまって考えてほしいです。</p>	<p>について検討段階であるため記載していませんが、都市計画税を充当するとともに、国や東京都の補助金の活用を図りながら事業を進めていきます。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。広場エリアにおいては、防災設備の設置を検討し、非常時にも活用できる公園として整備します。</p>	
24	<ul style="list-style-type: none"> ・計画全般 <p>小平都市計画道路3・3・3号線整備のための開発でもあり、貴重な農地や市民の宅地も買収しないといけないため基本的に計画に反対ですが、巨費を投じて整備するなら良いものを作ってほしいので投稿しました。</p> <p>市の原案だとせっきくの公園なのに公園の中にまた区画</p>	<p>本公園については、基本方針に基づき、エリアごとに本計画に示す施設整備イメージを踏まえて整備します。また、公園内を移動するための動線を確保し、公園内を広く利用いただけるつくりとします。その他、現在の土地の地割なども踏まえ記載の基本計画図としています。隣接エリアの連携なども含め運用について検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>街路のような形状で土地の使い方も限定されやすい形でとてももったいなく感じました。遊び場についてもお金の張る遊具（今の遊具は安全管理優先で子どもの遊びのためにあまり機能できていない）を入れて土地の利用を限定するより、イベントスペースと遊び場、畑のスペースが融合して融通のきく土地の使い方をできるように計画の見直しをお願いします。また小平には大きな芝生広場のあるゆったりと憩ったりレクリエーションを楽しんだり、フリーなイベントが展開できる公園がありません。もっと芝生広場を多く確保できるようにすべきと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進め方 これだけの面積と整備費をかけて作る小平に他にない規模の公園なので、そこにかかわる市民や公園で活動が期待できるグループの掘り起こしや、意見収集をしっかりと計画にその内容を反映できるように充分時間をかけて計画案を練り上げてほしいと思います。今のスケジュール感では市の計画案を基本として進めるほかありません ・遊び場 昨今子どもの遊び場は苦情対応等により遊具の安全基準があまりにもきつく、感性や運動機能、危険回避能力など子どもの成長に必要な機能を充分有することが出来ない状況にあります。見た目や高額な整備費がかかるわりに遊びの要素が貧弱になっている遊具を整備するのではなく、地形の凹凸、水遊び、木登り、土堀など工夫して遊ぶことのできる空間構成とその場を運営する人的資源を確保することが重要です。世田谷区など各所で整備が進んでいるプレーパーク（冒険遊び場）のような公園整備を望みます。 ・農地 計画では貸農園のような個人に貸し出す畑スペースの整備をうたっていますが、最近では農家を継続する手段として貸農園を始める農家さんも多くなってきており民業圧迫になる可能性もあります。本公園では、民間（農家）の進める市民農園をバックアップするような技術指導や、参加者の啓発を行う講座や技術指導のため機能やモデル農園（体の不自 	<p>遊戯エリアや子ども遊具エリアにおいては、気軽に子どもが利用できる遊具を整備します。築山のような遊具の設置なども含め検討し、伸び伸びと遊べるような整備を進めていきます。また、農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p> <p>今後も説明会等で事業について情報提供するとともに、ワークショップ等で市民の方のご意見を聴きながら取り組んでいきます。</p>	

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>由な人も参加できる農地のモデルを含む)、子ども体験農園を中心に利用者が土に触れることになじむための場として整備するのが妥当と考えます。</p>		
25	<p>鎌倉公園の近くには、比較的近くに他の公園もあることから、鎌倉公園の位置づけは、農地を保全し、市民が農業に触れあえることに特化した公園にして、園内の一部に防災広場を作りその一角に遊具を置いて、子ども達が遊べるスペースを確保するという形を望みます。</p> <p>素案1ページ、「市内の農地は農業従事者の高齢化や相続等の理由により減少し続けており、いかにして減少を食い止め、保全していくかが課題となっています。」素案18ページ「農にふれあうエリアは、既存の農風景を保全し、短冊状農地を活かした小平らしい農を楽しみ感じることができる空間を整備します。」ということであれば、計画地内にある南北に延びる短冊状農地はそのまま残すべきと考えます。広場エリア等で現存する短冊状農地を潰してしまうのは小平の昔ながらの農地の景観保全に反する考え方と思います。</p> <p>また、計画地内の土地を所有する農家の方が現在農地を手放すために市に生産緑地の買取り申し出をしておらず、農業を継続したい希望があるとすれば、農家の方が大切にしてきた農地は整地せずにそのまま活かし、梨のもぎ取りや、野菜の収穫体験等の場として残してください。</p> <p>アンケートで、直売所、カフェ・レストランを望む声があります。例えば、市内にある都立薬用植物園は、公益社団法人東京生薬協会が委託管理をしていますが、園内に「ふれあいガーデン草星舎」という店舗があり、花苗やガーデン用品、また市内でつくられた製品(パンなども含む)などを販売し、外で休めるスペースもあり、イベントも行われていてとても好評です。鎌倉公園内にもそのような施設の設置を希望します。</p> <p>小平の農の風景を残すということであれば、園内の一部に、例えば東武ワールドスクエア(栃木県)内の日本の民家のようなイメージで、小平の短冊形農地と農家の母屋等を再現することを希望します。武蔵野美術大学と連携して、市民</p>	<p>本公園は、市の特徴的な農地の保全と農を身近に感じる都市公園をコンセプトとした農業公園としています。農にふれあうエリアについては、既存の農地を活かすかたちとして、その他のスペースについては、基本方針にもとづき、広場エリアや遊戯エリアとしています。</p> <p>地域コミュニティとして活用できる広場の設置が必要であることから、既存の農地の北側に設置します。たかの街道から農地を見ることができ農の景観を感じることが出来ます。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p> <p>管理施設は、他の事例なども参考にするとともに、引き続き市内大学の大学生などの若い世代の声も参考にしながら、検討を進めていきます。</p> <p>広場エリアにおいては、防災設備の設置を検討し、非常時にも活用できる公園として整備します。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>も参加して一緒に製作するワークショップを開催し完成させていくことができるといいと思います。昔の農家についての説明とともに、鎌倉街道やたかの街道についての説明も入れた看板を作るとより来園者の理解が深まると思います。</p> <p>防災エリアには、非常時にも使える太陽光発電装置、防災井戸、雨水タンク、かまどベンチ、マンホール型トイレ等の設置を希望します。</p>		
26	<p>大量生産・消費、飽食、快適生活追求に起因する地球温暖化の進展、コロナ禍が示すグローバル経済の破綻、そこからのグリーンリカバリーが求められている。新たにつくる公園のコンセプトが農とのふれあいであることは、的をえていると大いに賛成する。農は食物を生産するとともに、土にふれることや命の芽吹きを通じて人々の心を癒し、広い空間は災害時の避難場所としても求められるものと思う。</p> <p>もう一つプラスして、エネルギー自立というコンセプトを追加してはいかがか。公園の畑のゾーンにソーラーシェアリングによる太陽光発電設備の設置を提案する。</p> <p>自然エネルギーは、農とも親和性が高く、あまねくふりそそぐ太陽光を作物と発電でシェアし、作物と電気を両方生産する方式が、大都市圏以外の農地で広がっている。むしろ農業経営だけでは立ち行かぬ第一次産業の救世主となりつつあり、農水省ではむしろ耕作放棄農地の再生策としても推奨しているくらいだ。農地法をクリアしても生産緑地法がバリアとなって東京では設置事例が殆どないところ、公園であれば、農地転用の必要もなく設置が可能であり、東京における本格的なソーラーシェアリングの事実上の初事例となることができよう。</p> <p>太陽光パネルをまばらに（遮光率30%）設置した下では、大豆、さつまいも、ラッカセイなど多種の農産物をつくることできる。小平市ならではの取組として、果樹園での設置を推奨する。とくにブルーベリーは小平市を象徴する作物であり、ソーラーシェアリングにも適していることが確かめられている。</p> <p>発電した電気は、管理棟での消費や、防災井戸を設置して</p>	<p>非常時の電源確保は重要であり、太陽光パネルをはじめとした蓄電設備や充電設備は、非常時における一定の効果が期待できます。その他ベンチなどの災害時にも活用できるような設備の設置についても検討していきます。</p> <p>防災の視点を持ちながら、防災機能を兼ねた広場に設置する設備について検討し、防災・地域の拠点として整備を図ります。</p> <p>障がいのある方や高齢者にも利用しやすいような設備の導入についても検討し、公園の運営については、市直営のほか民間委託や指定管理者制度等の手法等を考えながら検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>のくみ上げ等のエネルギーに使用できる。蓄電池も併設すれば、公園内の夜の照明や災害時への備えともなる。</p> <p>農業公園の運営や農作業は、市民参加で行うことを求めたい。草取りや収穫作業などを参加を募って行い、市民に愛される公園であってほしい。ソーラーシェアリングは木漏れ日状態での作業空間をつくり、高齢者や障がい者などの参加も容易となる利点があり、農福連携の取組も期待できる。</p> <p>そのための公園の運営主体は、あらためて市民参加で形成するかまたは既存の NPO への委託を検討していただきたいと思う。</p>		
27	<p>ワークショップ等に参加し、今回出た素案を見ましたが、やはりここに公園を造る必然性は感じられませんでした。中央公園が存在する上、創価のグラウンド跡地にも鷹の台公園建設の予定があり、この辺りの公園面積が多すぎると感じます。緑地を残すために公園を造るという短絡的な発想は税金の無駄遣いだと感じました。農地を残したいのであれば若い世代が小平市で農業に従事したいと思えるような政策をとるとか、根本的に問題に向き合うことが大切だと思います。公園を造るより、少子化や高齢化の問題を解決すべく補助金等の形で使う方が現実的だと思います。</p> <p>また、この計画が具体化した時とは違い、新型コロナウイルスが蔓延する世界に変化した今、今までの考え方でそのまま公園の建設を続行することはあり得ないことではないでしょうか。</p> <p>個人的なことを申し上げますと、必然性が感じられないのに公園建設によって現在の生活に変化が起きることは受け入れ難いことです。小平都市計画道路3・3・3号線ができることで騒音がひどくなることは必然だと思われませんが、その上公園建設のための騒音も発生するとなるとこの場所で生活できるのかどうか心配です。また、工事関係者や来園者の出入り等でプライバシーがどれくらい守られるのかも疑問です。</p> <p>この計画がこのまま施行されてしまえば第2期の整備は</p>	<p>農地が宅地化等で減少傾向にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備を進めていきます。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p> <p>新型コロナウイルスの蔓延に伴い、息抜きや癒しを求めて公園を利用する人が増えるなどの、新たな日常における公園の必要性も高まっています。第1期整備を令和8年度頃に終えた段階で、完成した箇所から多くの方にご利用いただけるよう計画的に整備を進めていきます。</p> <p>工事の実施については、近隣にお住まいの方に影響が少なくなるよう努めてまいります。</p> <p>公園の全体整備にあたっては、計画区域内の居住者の方に事業についてご理解いただけるよう丁寧にご説明し、話し合いをさせていただきながら進めていきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>令和12年度以降となっていますので、10年後には今住んでいる場所から立ち退かなければならなくなります。住む家だけでなく、畑やアパート、駐車場など土地のすべてを失うことになる身としては著しく将来の不安を感じています。こうした個人的な生活に及ぼされる影響については大変迷惑です。</p> <p>ただ、誤解のないよう申し上げますが、個人的な問題だけで反対するのではなく、基本的に市の政策として納得がいかないのが個人的な問題が一切なくてもこの公園の建設には反対です。</p>		
28	<p>「たかの街道から見える農の景観の保全」をコンセプト説明の1つに掲げている。これに対して、たかの街道は比較的交通量も多いのに対し歩道が広くなく、景色を歩き見たり公園を周回するには適していない状況にある。このことから、農にふれあうエリアに面した部分は低木を中心とした視界の開けた空間にしたうえで、たかの街道側の歩道形態の整備について、原案より幅を広げて小平都市計画道路3・3・3号線側で計画している自転車歩行者道のように整備し、安全に散策できる環境を整えることがコンセプトの実現には必要と考える。</p> <p>また、自転車歩行者道のような整備については、たかの街道側だけでなく山王通り側も同じように整備すれば、公園一周の散策やランニング、サイクリングなどができ、地域住民の健康づくりの場としても有効活用できると考える。</p> <p>なお、農施策の詳細については別途検討とのことであるが、基本計画に記載のとおり、数年後には市の人口が減少に転じるおそれもあるなか、今後の人口減少社会において人々に選ばれる自治体となるため、新たに整備する鎌倉公園が、現在の地域住民のみならず今後転居を考えるような方々にも魅力あるものとなることは非常に重要であると考えている。是非とも、そのような視点も含めて今後農施策を練っていただきたいと考える。よろしく願いいたします。</p>	<p>緑の中で安らぎ、自然を感じられるよう散策路を設置します。山王通り及びたかの街道に接する部分については、農地部分の保全や遊戯エリアのスペース確保のため、散策路は設置しませんが、既存の歩道に加え、公園内の一部を歩道形態として整備するとともに、緑地帯を設けることで、自然を感じながら安全に通行することができる空間を確保します。</p> <p>植栽する樹木の具体的な樹種は未定ですが、公園内は四季を感じる緑豊かな植栽となるよう整備します。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
29	<p>素案の中身に対しては、今までのアンケートやワークショップの意見を取り込んでまとめられたと思いますが、全ての希望を取り込んでいるがゆえに、一つ一つを見て「あれ。こんなに狭いの？」という声が出てきそうです。</p> <p>そもそも昭和38年に都市計画決定した後の約20年後に全く計画もなかった中央公園を作ったにもかかわらず、鷹の台公園と鎌倉公園の3つの大きな公園が必要なのでしょうか。</p> <p>小平市という広い面積の中で、この狭い範囲の中に3つも大きな公園を作るといふ根拠が街づくりの観点から考えても理解できません。</p> <p>私個人としては小平都市計画道路3・3・3号線も迷惑です。</p>	<p>本公園は、市の特徴的な農地の保全と農を身近に感じる都市公園をコンセプトとした農業公園としています。農にふれあうエリアについては、既存の農地を活かすかたちとして、その他のスペースについては、基本方針にもとづき、広場エリアや遊戯エリアとしています。</p> <p>農地が宅地化等で減少傾向にあり、市で農地を取得することにより、将来にわたり市の特徴的な農地を保全しながら、利用者に農を身近に感じていただけるよう整備を進めていきます。また、本公園は小平市のほぼ中央に位置し、行政機能が集中しながらも郷土的な空間が共存する地区に計画されています。北には都市計画道路の整備が予定されているほか、青梅街道もあり、南はたかの街道と広域的な交通利便性も良いことから、整備されれば緑や防災の拠点となることが期待されます。</p>	参考意見
30	<p>市内には幾つかの保存樹林がありますが、何時も癒されています。近年の殺人的な日差しの中でもその木陰に入れば、一瞬ホッとします。広大な鎌倉公園にも並木道程度でもあれば、夏場でも皆さんに楽しんでもらえるでしょう。</p>	<p>緑地エリアについては、緑のなかで安らぎ自然を感じられる散策路の整備をすることとしています。木陰を創出する旨の記載を加えるほか、遊戯エリアにおいて遊具の周りなどに部分的に木陰ができるような植栽などに取り組む旨の記載に修正します。</p>	反映する (P.19、24)
31	<p>原っぱがあるのは、大変素晴らしい。野原を歩くような感覚で歩ける場所は、なかなか無いものです。中央公園のトラックの中などは、広くても気軽には歩けません。この原っぱで子供たちが賑やかに走り回っている風景が目には浮かびます。</p> <p>幼児がハイハイしたり、よちよち歩ける専用スペースも子供のコーナーに設けて欲しいです。2歳を過ぎ、活発に走り回れるようになった子供は、前述の乳幼児には恐怖でしょう。</p> <p>公園内の歩道を利用し、散歩コースを設定してください。500mから2kmぐらいまで何本か作っていただければ、今日はどのコースを歩いてみようかと、散策目的で来る方も増えるでしょう。散歩する人にとって、歩いた距離がハッキリと分かることは、モチベーションが上がるものです。</p> <p>横浜国大の宮脇先生方式の植樹を、近隣の幼稚園・小学校</p>	<p>広場エリアや遊戯エリア、子ども遊具エリアでは小さな子どもをはじめ多様な世代が利用できるように整備します。</p> <p>遊具など設置するものについては、今後ワークショップ等で市民の方のご意見等を聴きながら検討します。</p> <p>植栽については、樹木の具体的な樹種は未定ですが、公園内は四季を感じる緑豊かな植栽となるよう整備します。</p> <p>農にふれあうエリアについては、魅力ある内容とし、多くの方にご利用いただけるよう検討していきます。</p>	参考意見

番号	ご意見	検討結果	対応
	<p>の子供たちに父兄同伴でやってもらうのはどうでしょう。その子らの成長が樹々の成長と重なると思えば、楽しくなるではありませんか。</p> <p>農園コーナーの中に、散歩できる歩道を多めに作って下さい。歩きながら作物を覗き見ることができる畑は、有りそうで案外少ないです。また、そのためにきれいな畑にしてください。市民農園もありますが、きれいな畑はごく僅かで、殆どはそうではありません。きれいにしようと思うと、週1程度の出動では絶対無理です。したがって、趣味程度のボランティアに委ねたのでは、公園と称するに値するものにはならないでしょう。農家の方にやってもらって、取れた作物は農家の物とします。その代わり市が払う委託料は、安目にします。また、公園の名に相応しい綺麗な畑にしてもらうためのガイドラインも必要でしょう。</p>		
3 2	<p>小平市で子供2人を育てた親として、小平市には大きな公園、大きな遊具のある公園が少ないと感じていました。小金井公園や東村山中央公園に子供を連れて行って遊ばせていました。鎌倉公園には遊具を設置するとのことですが、ぜひ大きな複合遊具を取り入れてほしいと思います。</p> <p>夜間の防犯について、夜間でも明るく、周囲からも見通しのよい公園になってほしいと思います。</p> <p>騒音対策については、子供の遊び声などはほほえましいとも思えますが、スケートボードなどの騒音や危険性に対しては、しっかりと対策してほしいと思います。</p>	<p>遊戯エリア、子ども遊具エリアでは小さな子どもをはじめ多様な世代が利用できるように整備します。伸び伸びと遊べるような整備にあたっては、複合遊具も含めた遊具の設置について検討します。</p> <p>防犯については、周囲から公園内を見通すことができるような植栽に取り組むほか、公園灯についても防犯に必要な照度を確保します。</p> <p>公園の利用方法については、利用者の安全確保に努めるとともに、近隣にお住まいの方に配慮した利用方法となるよう検討します。</p>	参考意見
3 3	<p>木陰の多い公園にしていきたいです。小平市小川町は、かつて広い畑地が広がっていました。その畑地が年々宅地となり、今度は新青梅街道よりも広い道路が通り、舗装された道路は土の地面よりも熱をもち、周囲の住民にとってはこれまでよりも住みにくい環境になるのではと感じます。体験農園が整備されるのは大変喜ばしいと思いますが、ぜひ子供たちが遊ぶ遊具の周りや公園の外周には、木陰ができるよう、大きな木を植えてほしいと思います。</p>	<p>緑地エリアについては、緑のなかで安らぎ自然を感じられる散策路の整備をすることとしています。木陰を創出する旨の記載を加えるほか、遊戯エリアにおいて遊具の周りなどに部分的に木陰ができるような植栽などに取り組む旨の記載に修正します。</p>	反映する (P. 19、24)